

# 図書館へ行こう

本は、市内の図書館・図書室どこでも貸出・返却できます。

おすすめの  
新刊

### 『おみくじ』

作/きた あいり  
出版社/B L出版

大人も子どもも大好きなおみくじ。今年もいいことがありますようにと願いをこめて、おみくじを引きます。では、箱の中のおみくじは一体どうなっているのでしょうか。ユーモラスな話に思わず吹き出してしまう絵本です。



### 『世界の民族衣装』

画/竹永 絵里  
出版社/河出書房新社

民族衣装には、国々の文化や思いが込められています。世界45カ国の民族衣装をカラフルなイラストでわかりやすく説明しています。異文化に興味を持つきっかけにもなる1冊



### 『落語少年サダキチ(に)』

作/田中 啓文  
画/朝倉 世界一  
出版社/福音館書店

清海忠志は、名人と呼ばれた幻の落語家・笑酔亭粋梅との不思議な出会いから、落語塾に通うことに。そんな中、強力なライバル・養島務の登場に、落語スターへの道が脅かされそう…。落語少年の物語第2弾



### 『幻の動物とその生息地』

作/J.K.ローリング  
絵/オリヴィア・ロメネク・ギル  
訳/松岡佑子 出版社/静山社

ハリーポッターシリーズの中で、ホグワーツ魔法魔術学校の指定教科書となっている本書。ホグワーツで学んだハリー・ポッターたちも、この教科書を使用したとか。物語の中で登場する魔法動物や、幻の生物も多数掲載しています。



### 『1日で簡単、きちんと! おせち&おもてなしごはん』

著/小林 まさみ  
出版社/扶桑社

黒豆、伊達巻き、紅白なますなど、1日のできる失敗知らずの簡単おせち13品を紹介いたします。おせちに飽きたときのごちそうレシピや、3品のできる簡単ごちそう鍋、デザートレシピも収録



### 『葵の残葉』

著/奥山 景布子  
出版社/文藝春秋

徳川に分家筋・高須に生まれた四兄弟はやがて尾張、一橋、会津、桑名を継いで維新と佐幕で対決する。同じ血筋に連なりながら相戦うことになった“最後の徳川”たちの物語



### 図書館のイベント情報

会場	主なイベント	開催時間
平戸図書館	おはなし会 (おはなしのへや)	毎週日曜 午後2時~
	赤ちゃんおはなし会 (おはなしのへや)	10日(水) 午前10時30分~
	『みんなdeシネマ』(COLAS平戸ホール) 『グレート・ディベーター』(アメリカ:128分)	13日(土)・25日(木) 午後2時~
	ライブラリーコンサート(COLAS平戸ホール) 上尾高二氏、松尾ゆうこ氏、佐々木久和氏による ヴァイオリントリオコンサートです。クラシックからポップスまで、幅広く演奏します。(予定)	27日(土) 午後7時~
永田記念図書館	おはなし会 (ふれあいセンター児童室)	毎週土曜 午後2時~

今月の休館日 平戸図書館: 1月1日(月)~3日(水) 永田記念図書館: 1月1日(月)~3日(水)、9日(火)、16日(火)、23日(火)、28日(日)、30日(火)

### 各図書館・図書室連絡先

平戸図書館	☎22-4017
永田記念図書館	☎28-0128
南部公民館図書室	☎27-0047
生月支所図書室	☎53-2111
田平町中央公民館図書室	☎57-0207
大島村公民館図書室	☎55-2511

### 図書館ホームページ

<http://www.hirado-lib.jp>

携帯電話からQRコードを読み込んで簡単にアクセスできます。



各地域の食生活改善推進員が紹介します! 10

## 今月のレシピ

問 保健センター健康づくり推進班 ☎57-0977

### 『白菜の甘酢漬け』

#### 【材料(4人分)】

白菜	260g	水	160cc
パプリカ(赤)	1/4個	鶏がらスープの素・小さじ1	
※塩もみ用の塩	適宜	酢	大さじ2
		ごま油	小さじ2
		砂糖	大さじ2
		塩	小さじ1
		いりごま	大さじ1

#### 【作り方】

- 白菜、パプリカは細切りにし、軽く塩でもみ水気を絞る。
- 鍋にAの材料を全て入れて火にかける。
- 煮立ったら火を止め、熱いうちに①を入れて、1時間ほど漬け込み味をなじませる

#### 【栄養(1人分)】

●カロリー40kcal ●食塩相当量0.3g



#### お正月の一品に!

白菜は、大根・豆腐と並び冬の健康維持に欠かせない食材で、胃など消化器系の働きを安定させます。

お正月の箸休めに、酢やごま油を効かせ、塩分控えめな漬物をぜひ作ってみませんか。



中部支部 むつば会  
つちだ  
土田ツヤ子 さん

## 宝亀教会への「歴史の道」(宝亀町越首地区)

問 文化交流課文化遺産班 ☎内線2278

宝亀集落は、平戸瀬戸に面する平戸島東海岸に位置する人口374人(163世帯)の集落で、鎌倉期には「保々木」と呼ばれ、江戸中期ごろに「宝亀」に改められました。

集落の高台に位置する宝亀教会は、今から120年前の明治30年(1897)に着工し、翌31年(1898)に完成・献堂されたもので、市内に現存する最も古い教会堂です。建設に用いた木材やレンガなどの資材は船で運び、宝亀浦の海岸線から背負ったり担いだりして運んだと伝えられており、教会堂の駐車場下には、その時に登ったと思われる石段が今も残されています。「この石段は急だったので、子どものころは親に手を引かれて登っていた。」

海まで距離があるので、ここまで資材を運ぶのはとても苦労したろう」と話す藤澤さんは、教会堂建設時に大人たちが運んでいた8m以上もある大きな木材の上にまたがったら、ひどく怒られたという貴重な昔話も聞いたことがあるそうです。

教会堂へと続く、資材を運び上げた道の痕跡は、その後の道路改良や小学校の建設などでわずかに残るのみとなりましたが、藤澤さんにとっては、教会堂建設時の信徒たちの信仰心を物語る大切な歴史の道です。町の歴史を教えてくれた藤澤さんの笑顔を見て、このような小さな石段にも大切な思い出があり、それを語り継いでいく必要性を改めて認識しました。

## 私のまちの宝探し

このコーナーでは、地域に眠る小さなお宝を紹介します。

vol. 10



教会駐車場下に残る石段



ふじさわ つたえ  
藤澤 傳 さん  
宝亀町